

明治大学博物館友の会総会特別講演会

「農耕社会の成立

—水田稲作の西から東への波及—」

講師 明治大学教授 石川日出志氏

日時 2011年5月 14日(土) 15:30 ~ 17:00

場所 明治大学リパティタワー2階 1021教室

講師 明治大学文学部教授 石川 日出志氏

演題 「農耕社会の成立—水田稲作の西から東への波及—」

石川先生は、昨年10月に『農耕社会の成立』(岩波新書)を上梓されました。

その中では、縄文・弥生・古墳時代への移行過程を、農耕社会の成立という縦軸と、地域や時間という横軸の座標で見ると、地域ごとにその姿は独自の異なった様相を呈していることを、明快に説かれています。

紀元前1,000年紀前半に、大陸から水田稲作(灌漑稲作)が導入され、本格的な農耕社会が成立し、社会の仕組みを大きく変貌させた弥生時代が始まりました。弥生早期に北部九州に伝来した水田稲作は分布を拡大し、隣接地域内でリレー式に、数百年の年月を経過しながら波状的に展開し、弥生前期以降瀬戸内を通り西日本に拡がり、社会の変化は緩やかに展開されました。そして弥生中期には、水田稲作は東北の青森県にまで波及しました。特に、縄文の伝統の強い東日本では、縄文文化との補完・拮抗の関係の中で新しい農耕社会が築かれていきました。

弥生時代は、どこでも均質な文化内容を持つものではなく、地域ごとに、時期ごとにその社会の独自の様相を呈していました。水田稲作の西から東への波及過程を通し、弥生時代の成立過程をお話し頂きます。(磯辺記)

参加費: 友の会会員・学生は無料。一般は1,000円(当日会場にて集金)

懇親会: リパティタワー17F「スカイラウンジ暁」17:30~19:00 会費 3,000円

申込み: 会員は送付済みの総会・特別講演会・懇親会出欠はがきで、学生・一般の方は普通はがき・メール・FAXで、住所・氏名・電話番号・懇親会参加の有無を明記して
4月30日(土)までに申し込 み下さい。

《宛先》 はがき 〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1

明治大学博物館気付け・友の会「特別講演会係」

FAX 03-3296-4365 <博物館気付> メール meihakutomonokai@yahoo.co.jp

明治大学博物館友の会への当日入会の特典

当日に友の会にご入会の方は、講演会の参加費は無料となります。会員には友の会主催の講演会・見学会の割引や各種特典がございます。詳しくは入会案内をご参照ください。

【主催】 明治大学博物館友の会

【共催】 明治大学博物館